平成 21 年 3 月

「湖沼底質環境・調査手引き」（案）を作成しました。



東北地方整備局　河川部河川環境課

- これまでに、ありそうで無かった底質の調査手引き
- 底質調査のノウハウをこの一冊に集約
- 現場担当技術者向けに、分かりやすい内容

本手引きは、小川原湖の底質調査結果から言えることを中心に、底質環境の調査方法や調査結果の解釈にあたっての留意事項及び土壌の取り扱いに際しての法体系などを取りまとめることによって、今後、河川管理者が湖沼等における水質管理の一環として底質環境を取り扱う場合の参考資料として活用されることを目的としたものです。

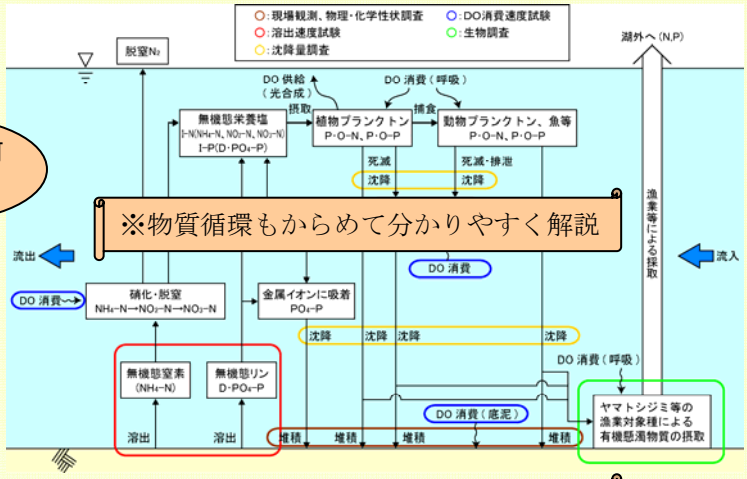
１章　概要

本手引きの目的、手引き活用にあたっての留意事項及び手引きの構成を示した。

どこで？何を？いつ？

２章　底質環境調査計画の考え方

富栄養化関連調査に係る底質環境調査計画の内容について概説するとともに、小川原湖における底質挙動特性等から調査地点、調査項目及び調査時期・頻度の選定等、調査計画立案時の考え方を示した。



どう やって？

３章　底質環境調査方法

実際に底質環境調査を実施するあたり、現地や試験室で配慮すべき事項を調査方法の留意事項として示した。（調査の種類：現場観測項目の測定、底質の物理・化学性状調査、溶出速度試験、沈降量・沈降物質調査）

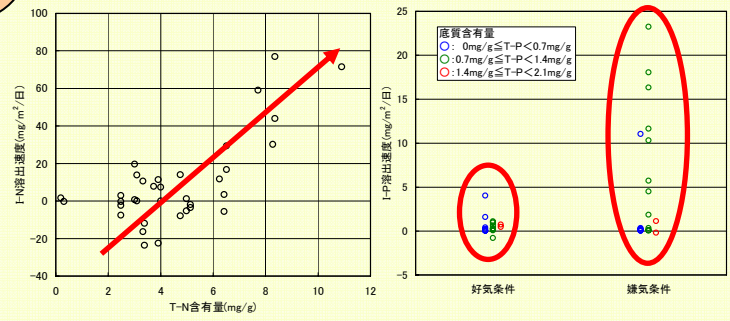
※写真、図等を使い分かりやすく解説



どう 見るの？

４章　底質環境調査結果の見方

代表的な底質関連の試験項目である含有量調査、溶出速度試験、沈降量・沈降物質調査について、小川原湖におけるデータを事例に調査結果を解釈する際の留意事項を示した。

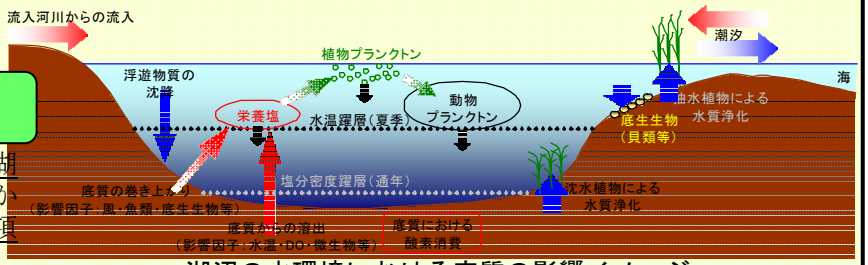


５章　底質・土壌に係わる法体系と試験方法

行政現場での参考として底質・土壌に係わる法体系の概要を示すとともに、法によって異なる含有量や溶出といった基準値の理解を容易にするため試験方法の概要を示した。

資料編

手引きとりまとめのベースとなった小川原湖底質調査の概要とともに、本編では触れられなかった湖沼の流動や水質予測モデルに関する事項等々を補足資料としてとりまとめた。



湖沼の水環境における底質の影響イメージ

担当：東北地方整備局　東北技術事務所